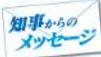




村奈川県知事
村上 昌徳



神奈川発“エネルギー革命”で日本のエネルギーを変えていきます！

ともに明日へ

太陽光発電は、この神奈川から流れを作り、一気に日本全体に広がりました。
そして、次のエネルギー革命の主役として期待される「水素エネルギー」の普及も神奈川が先頭に立って引っ張っていきます。

太陽光発電のトップランナーとして

東日本大震災のすぐ後、私は知事になりました。

その当時、誰の目にも明らかだったことは、これまでのように原子力発電に過度に依存するエネルギー体系はもう無理だ、早く新しいエネルギー体系を作らなければいけないということでした。その思いの中で、まず太陽光発電を急速に普及させることに全力を注ぎ、この流れは一気に日本全体に広がっていきました。

昨年には、太陽光などの再生可能エネルギー源で発電された電気を電力会社が買い取る「固定価格買取制度」がスタートしました。また、太陽光発電設備の需要が拡大することで、設置費用も下がりました。こうした中、県が推進する「かながわソーラーバンクシステム」では、売電収入と電気料金の節約効果により10年間で設置費用の回収が見込まれる「実質自己負担ゼロ」の設置プランも、

た。県営初のメガソーラー（大規模太陽光発電所）も稼働しています。県企業庁が愛川町半原で整備を進めていたメガソーラー「さんてらすTOBISHIMA」が完成し、5月に開所式を行いました。この所の年間発電電力量は、一般家庭520世帯分の年間消費電力量に相当します。

次世代エネルギーの主役は水素だ

エネルギー革命の大きな流れの中で、新たな技術も急速に実用化が進んでいます。その次世代エネルギーとして、私が最も注目しているのが、水素エネルギーです。

水を電気分解すると水素と酸素が発生します。この逆に、水素と酸素を化学反応させると、水とエネルギーになる、これが水素エネルギーです。水をもとにしたエネルギーですから、究極のクリーンということができるでしょう。

ただ、水素というと、安全面は大丈夫なのかという不安を持たれる方もいらっしゃると思います。

そこで、4月にバシフィコ横浜で「神奈川発 水素革命」次世代エネルギーの主役は水素だを開催し、講演やパネル討論を通して、水素エネルギーの可能性や安全性について、徹底的に議論しました。2015年には、水素エネルギーを使った燃料電池車の発売が予定されています。燃料電池車に水素を供給する「水素ステーション」については、この4月に日本初のガソリンスタンド一体型ステーション名市中新田に開設されました。もうそこまで実用化は近づいているのです。

この流れをどんどん加速させて、この神奈川から、再びエネルギー革命を起こしていきたいと思っています。

[このページの先頭へもどる](#)

[県のたよりトップページへもどる](#)

神奈川県 県民局ぐらし県民部 広報県民課

〒231-8588 横浜市中区日本大通1
[電話]045(210)3662 [ファックス]045(210)8834
[県のたよりに関する問い合わせフォーム](#)

神奈川県 このページの所管所属は [県民局ぐらし県民部 広報県民課](#) です。